

福岡市アーチェリー協会

【設立年月日】1976（昭51）年12月

2団体、47名の会員で発足

【加盟年月日】

1978（昭53）年5月

【歴代会長】

1978（昭53）年～1998（平10）年

高山久生

1999（平11）年～2002（平14）年

川鍋寅政

2003（平15）年～現在

湯村重人

【歴代理事長】

1978（昭53）年～1979（昭54）年

大原光男

1980（昭55）年～1987（昭62）年

角治助

1988（昭63）年～1996（平8）年

岡村和昭

1997（平9）年～2002（平14）年

川鍋寅政

2003（平15）年～現在

湯村重人

【沿革】

体育協会加盟時、既に福岡市内の大学には複数のアーチェリー部が活動しており、その卒業生が社会人となり当協会会員として活動していました。

また、社会人のクラブが行っていた初心者教室等の活動により徐々に会員数も増え、1980（昭55）年にアーチェリーが国体の正式種目となってからは、当協会会員が県代表選手の主力として活躍しました。

アーチェリーは車椅子でも競技可能なスポーツとして盛んでありパラリンピックの正式競技種目になっていますが、福岡市においても古くから障がい

者のクラブ活動があり、1991（平3）年から競技会を主催、障がい者、成人一般、学生の枠を超えたインドア大会（『博多っ子杯』）を開催してきました。

【現在の活動】

現在本協会には約40名の社会人会員が登録しており、アーチェリー愛好者として各種競技会等に参加しています。

体育協会加盟以前から主催してきた大会：『福岡市アーチェリー選手権大会』は現在、市民総合スポーツ大会の一環となりましたが、学生、一般の区別無く競技会を通じて交流できる大会として定着しています。

また、『博多っ子杯』は、福岡市及びその近郊だけでなく県外からも広く参加者があり、障がい者、一般、学生の区別無く競技できる公認大会として親しまれています。

高校では柏陵高校にアーチェリー部があり全国でも古豪として知られています。2010（平22）年のインターハイでは同校女子部が準優勝するなど活躍していますが、残念ながら市内の高校にアーチェリー部は依然として同校のみであり、社会人同様、アーチェリーの裾野を広げるには難しい状況です。

各個人の体格や体力に見合った道具を使うことで他者と対等な立場で競技ができるのがアーチェリーの競技としての最大の特質であり、それゆえに、生涯スポーツ、障がい者のスポーツとしての可能性が豊かなアーチェリーではありますが、少子化社会を迎えた今、今後はいかにして草の根レベルで親しむことができる環境を作り、維持していくかが大きな課題となっています。

■本協会主催の大会・教室

- ・『福岡市アーチェリー選手権大会』（主管）
- ・『博多っ子杯』
- ・初心者体験教室
(春日市クローバープラザ射場にて毎月開催)

